

## NPO 法人 環境生態工学研究所 活動報告

実施日	平成 27 年 2 月 14 日 (土)
場所	東北大学片平北門会館 エスパス
参加者	一般申込みの方 NPO 法人 環境生態工学研究所 (E-TEC) 会員 【計 約 40 人】

活動状況を報告いたします

状況写真	解説
	須藤理事長よりご挨拶です。 今回のテーマは『汚泥を利用した炭素社会から水素社会へ』ということで次世代エネルギーへの期待と課題、そしてこれら解決の糸口となる最先端研究者お二方の紹介がありました。
	一人目の講師は、東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 環境保全工学研究室助教の北条先生です。 『廃棄物系バイオマスからの生物学的水素・メタン生産プロセス』というご講義をいただきました。 微生物を利用した効率的なバイオガス発生技術の研究報告でした。

(次ページへ続く)

状況写真	解説
	<p>一人目の講師は、東北大学多元物質科学研究所教授の加納先生より、『水素社会の構築に貢献する紛体プロセスの創製』というご講義を頂きました。</p> <p>加納先生は物理化学的な水素発生方法を研究なさっています。この方法は公聴者のほとんどの方が初めて耳にしたのではないのでしょうか？</p>
	<p>タイトルが難しかったので、理解できるかどうか不安でしたが、お二方ともわかりやすく、楽しいご説明を頂きました。</p> <p>会場からはたくさんの質問がありました。</p>
	<p>今回の報告内容は両者とも、既存の水素回収技術より合理的で、とても進んでいる印象を受けました。</p> <p>ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。</p>

以上